

伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究

－漆製品の価値向上研究（第3報）－

Study of the traditional works which adopted design awareness － Study to increase value of the Tsugaru-nuri product (Part 3) －

小松 勇、小野 大輔、鳴海 藍

第2報ではこれまでの配色データと試作品などの資料をまとめ、企業向け商品開発のテキストとして冊子作成について述べた。

本報ではこの商品開発テキスト「配色活用データブック」を活用し、どう商品化支援に役立てたかについて述べる。

配色活用データブックを活用し、漆器及び工芸企業に講習会にて技術普及を2回実施した。また、前年度実施したV-Cupのインタビュー調査で裏付けを得た製品については、製品の特徴を企業に提示し消費者の本物志向とインバウンドを考慮した製品化を促した。さらに、企業の成果製品を公募展入選1件と展示会1件でプロモーション支援しテストマーケティングを実施、商品化支援を行なった。

本研究成果を活用して漆器企業に技術普及を図り、製品化を促すと共に製品を展示会等でテストマーケティングを支援した結果、新配色漆器の商品化を企業が進めている。

配色データを活用することで開発コストの軽減。さらにV-Cupの活用により製品だけでなくプロモーションツールの開発投資を企業が行うようになった。次年度からは津軽塗産業の新市場開拓として配色データを活用した建築内装材を展開する予定である。



写真1 技術普及講習会



写真2 首都圏展示会での発信